

民主

PRESS MINSHU

2005年7月15日
民主号外
調布・狛江版
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-6988(代役)
http://www.dpj.or.jp

民主党東京都第22区総支部
〒182-0026
調布市小島町1-12-7 小笠原ビル3階
電話・FAX 0424-85-6687
http://www.ozakidaisuke.com
e-mail: ozaki-dai@luck.ocn.ne.jp
No.6



衆議院議員 山花いくお 秘書
民主党東京22区都政対策委員長

尾崎 大介

おざき だいすけ

民主党は2005年夏の東京都議会議員選挙におきまして
北多摩3区(調布市・狛江市)で「尾崎大介」の公認を決定いたしました。

原点は現場主義！

現場のことを知らない人が、その人たちの気持ちや要望を理解できるはずがないと思っています。
現状を自分の目で見て耳で聞き感じ取る。そこから生まれてくる疑問点や改善点を探し「東京政策」へとつなげて実現させるのが私の使命であると思っています。



調布市内の福祉作業所を訪問しました。



ギフト袋の取っ手を取り付ける作業を手伝う尾崎大介(右)

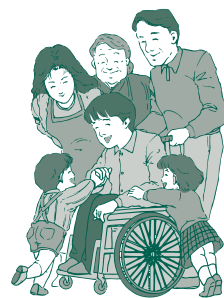
地域で支え合う 安心な福祉社会をめざして

- ※ ノーマライゼーションを基本理念とした施策の充実
- ※ 専門家の養成による
障がいに応じたきめの細かな体制の確立
- ※ 職業能力訓練の充実による就業機会の拡大
- ※ 文化・芸術分野での自己表現に向けた政策推進

1 一人ひとりの個性や能力をきちんと見極め、障がいの種類や程度にあったきめ細やかなサポートを行い、自立を支援するためのサービスを充実させます。また、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハビリテーションの専門職や障がい者・難病患者の各特性に対応できるホームヘルパーや専門的知識のある質の高い人材を養成します。

2 障がい者や家族からの相談に適切に対応する「障がい者地域生活支援センター」を設置するなど相談体制を整備するとともに、苦情解決や権利擁護などの利用者保護制度を充実します。

3 障がい者の就労の場を確保するため、通所施設、小規模作業所などを拡充するとともに、ジョブコーチ(職場適応援助者)事業を推進します。また障がい者スポーツや障がい者アートの取組みへの支援を拡大させます。



※ノーマライゼーション

障がい者に、すべての人が持つ通常の生活を送る権利を可能な限り保障することを目標に社会福祉をすすめること。